

平成27年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「クウェネン地区セラメン小学校教室棟建設計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

平成29年2月21日

平成29年2月15日、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「クウェネン地区セラメン小学校教室棟建設計画」の引渡式がセラメン小学校にて行われました。

本案件は、当国首都ハボロネの中心部から車で約30分の距離に位置する、モホディツァーネ地域メツィモタベ村において、教室棟1棟（2教室、総面積約223平米）を建設したものです。同資金協力により、被供与団体であるクウェネン地区評議会モホディツァーネ・タマハ地域支部に対して、70,018米ドルが供与され、同教室棟が建設されました。セラメン小学校では、一部の生徒は、野外に机を並べて学習することを強いられています。本案件の実施により、児童たちに適切な学習環境が提供され、彼らの意欲の高まりや学力向上が期待されます。

引渡式において、尾西雅博大使はスピーチを行い、「本案件の実施が、児童たちの明るい将来の可能性を広げるだけでなく、彼らが将来、ボツワナの発展と繁栄を支える存在になることを期待する」と述べました。これに対して、園児たちから謝意を表す歌や劇が披露されたほか、ホヤ基礎教育副大臣をはじめとする出席者からも、感謝の意が述べられました。引渡式の様子は当地の日刊紙のほか、国営テレビニュースにも取り上げられました。



（写真）完成した教室棟のテープカットを行う尾西大使



（写真）引渡式後の尾西大使、
基礎教育副大臣及び出席者たち